元気なまちかど

No.1 輪ゴムやビー玉でオリジナル模様
アイの生葉染め

アイの生葉染めが9月3日、みなくち子どもの森で開催されました。

アイの葉は、昔から藍染めの染料として使用されてきました。参加者は手摘みしたばかりの生葉をミキサーにかけて染色液を作ると、布に模様をつけるためのビー玉や輪ゴムを巻きつけました。深緑色の液にしばらく浸した後、広げてみると淡い緑色に染まった布に線や丸、さまざまな模様が現れました。

参加者は、染色した布を天日干ししながら「きれいな色がついてうれしい」「輪ゴムやビー玉で模様ができるなんておもしろい」と染め上がったオリジナル模様の布に満足げでした。

▲染め上がった布を天日干しする児童

No.2 私らしく輝く 魔法の授業
輝く女性のためのセミナー

女性の活躍をより一層推進するための講座「輝く女性のためのセミナー」が9月7日、サントピア水口で開催され、59人の女性が参加しました。

講座では、やる気や能力、行動力を引き出すコーチングや、時間管理が上手になる整理整頓方法など、自分の夢を実現するための術について紹介されました。

講座の最後には、参加者おのおのが将来の自分を輝かせるための取り組みを宣言しました。参加者は、「声を出して他の人に聞いてもらうだけで、一歩を踏み出せたような気がします」と意識の変化を感じていました。

▲セミナーを受講する参加者

No.3 本がつなぐ出会い
のぼりがま古本市

登り窯を会場とした古本市が9月11日、信楽町の窯元で開催されました。

この催しは、地域のお店などの軒先を借りて家などで不要になった本をひとつの箱に詰め込んで持ち寄る「一箱古本市」と言われる本のフリーマーケットで、市内で初めて行われました。

登り窯の横に設置された会場には、老若男女を問わず、本を探して県外からもたくさんの方が訪れました。店主や来場者は、信楽らしい風情のある風景の中で交流も楽しんでいました。

10月22日・23日にはヴォーリス建築の旧水口図書館でも開催されます。水口会場でも本がつなぐ出会いをお楽しみください。

▲登り窯を会場とした古本市

No.4 防災に国境はない
外国人と一緒に学ぶ防災教室

外国人と一緒に学ぶ防災教室が9月11日、水口中央公民館で開催され、市内在住のインドやブラジル、ペルー、フィリピン、中国出身の外国人が参加しました。

この教室は、甲賀市国際交流協会が主催したもので、外国人向け防災グッズ講座のほか、防災マップを使用し自分の住む地域の避難所を確認するなど日本人と一緒に学ぶワークショップも行われました。

外国人の方には「避難勧告」「避難指示」という言葉を覚えてもらうことも必要です。今後、協会では「やさしい日本語」による防災教室を開催し、国籍に関係なく災害時に対応できる取り組みを進める予定です。

▲防災マップで避難所を確認する参加者

であいこうか DEAI KOKA

野球が好きを貫きます

滋賀マイティーエンジェルス
水口中3年
鳥本梨々花（とりもとりりか）さん

今回は、女子中学生全国制覇を目標に2010年に結成された県内唯一の女子軟式野球チーム「滋賀マイティーエンジェルス」で主将を務めていた鳥本さんにお話を伺いました。今夏も近畿大会を突破し、見事全国大会に出場されました。

INTERVIEW

▶野球をはじめたきっかけは?

兄が野球をしており、同じチームで父も指導者をしていたことから、野球が小さい頃から身近にある遊びのひとつでした。兄の練習や試合は、家族が集う場でもあったので、自然と野球をはじめ、野球が大好きになりました。

▲バッターボックスで構える鳥本さん

▶中学生で他のスポーツやソフトボールに転向せず、軟式野球を続けたのは?

小学生の女子選抜チーム『滋賀あみんちゅガールズ』で活動していた時から『滋賀マイティーエンジェルス』との交流があり、中学でも軟式野球を続けることしか考えていませんでした。練習は、土・日・祝に野洲の河川敷グラウンドで行い、雨や雪が降っても橋梁の下で練習しました。厳しさの中にもお互いを励まし合いながら3年間いい仲間たちと活動することができました。

▲遊撃手として守る鳥本さん

▶高校でも野球を続けますか?

高校では、軟式野球ではなく硬式野球に挑戦したいです。県内には女子硬式野球部がないので、女子硬式野球部がある県外の高校に進学したいと思っています。今まで試合や送迎で支えてくれた家族とは離れるけれども、自分が好きな野球を自分が決めた道で歩みたいという気持ちでいっぱいです。